



11月定例岡山市議会から

市有施設の配置、 偏っていませんか

小学校区でみたとき、市有施設に偏りがあるという質問が続きました。

公民館は中学校区に1館しかないため、小学校区でみると公民館のないところがあります。またコミュニティハウスは小学校区ごとに整備をする方針ですが、いまだに21小学校区に設置されていません。

**市長答弁「施設の偏在は事実」
「公平にしていこう」「財政もある」
「考えていきたい」**

「公民館が偏在しているのは確かであり、関係者と相談、議論していき、現実的な姿として、全体の公平感が重要である。」「施設の偏在化をどう是正するかは重要だが、財政のこともある。市庁舎建設の基金を積んでいるところであるし、2020後の景気も心配だ。施設の偏在は事実であり、公平にしていこうが、財政もあり、喫緊の課題もある。一つひとつの事案を見ながら、何をどこにどうしていくのか、考えていきたい。」との市長答弁がありました。

これから考えていくということです。岡山市全域を見渡せば、すぐわかる施設の偏りに対して、いままであまり関心なかったのでしょうか。

市立幼稚園がなくなると、集まる場所がなくなるという不安！

岡山市では、中学校区に認定こども園を1園作る計画が進行しています。計画では、同

じ中学校区の他の市立幼稚園や市立保育園は廃園もしくは民営化することになっています。

小学校と市立幼稚園しか市有施設がない小学校区では幼稚園がなくなると集まる場所さえなくなると不安を訴えています。こうした不安解消には、小学校区に市立幼稚園や市立保育園を残すように計画変更が必要です。

コミュニティハウス建設の条件を見直すべき！

コミュニティハウスのできていないところは、建設条件がクリアできないからです。条件を見直し、小学校区にひとつのコミュニティハウス整備を進めれば、施設の偏在解消に有効です。

市有施設を、市民の居場所として整備しましょう

岡山市は、総合計画において、将来も小中学校区等を単位とした「日常生活の拠り所」が必要としています。持続可能な地域づくりには、市有施設の偏在是正は待ったなしです。

偏在是正の物差しは、小学校区、地域面積、地域人口、公共交通の有無などとあわせて、使う人の利便性が一番大事です。「歩いて行ける」「公共交通で行ける」「猛暑日に涼める」「友達ができる」など。

市有施設を、市民の「居場所」にしていきたいと思います。

下市このみ事務所からのお知らせ

▼1月15日(水) 1月臨時議会

▼野菜市 年内最終販売日 12/25(水)
2020年初売り 1/8(水)

▼下市このみ事務所
今年末年始お休み 12/28(土)～1/5(日)

今年もお世話になりました。来年もよろしくお祈りします。